

高崎芸術劇場

TAKASAKI CITY THEATRE

presented by



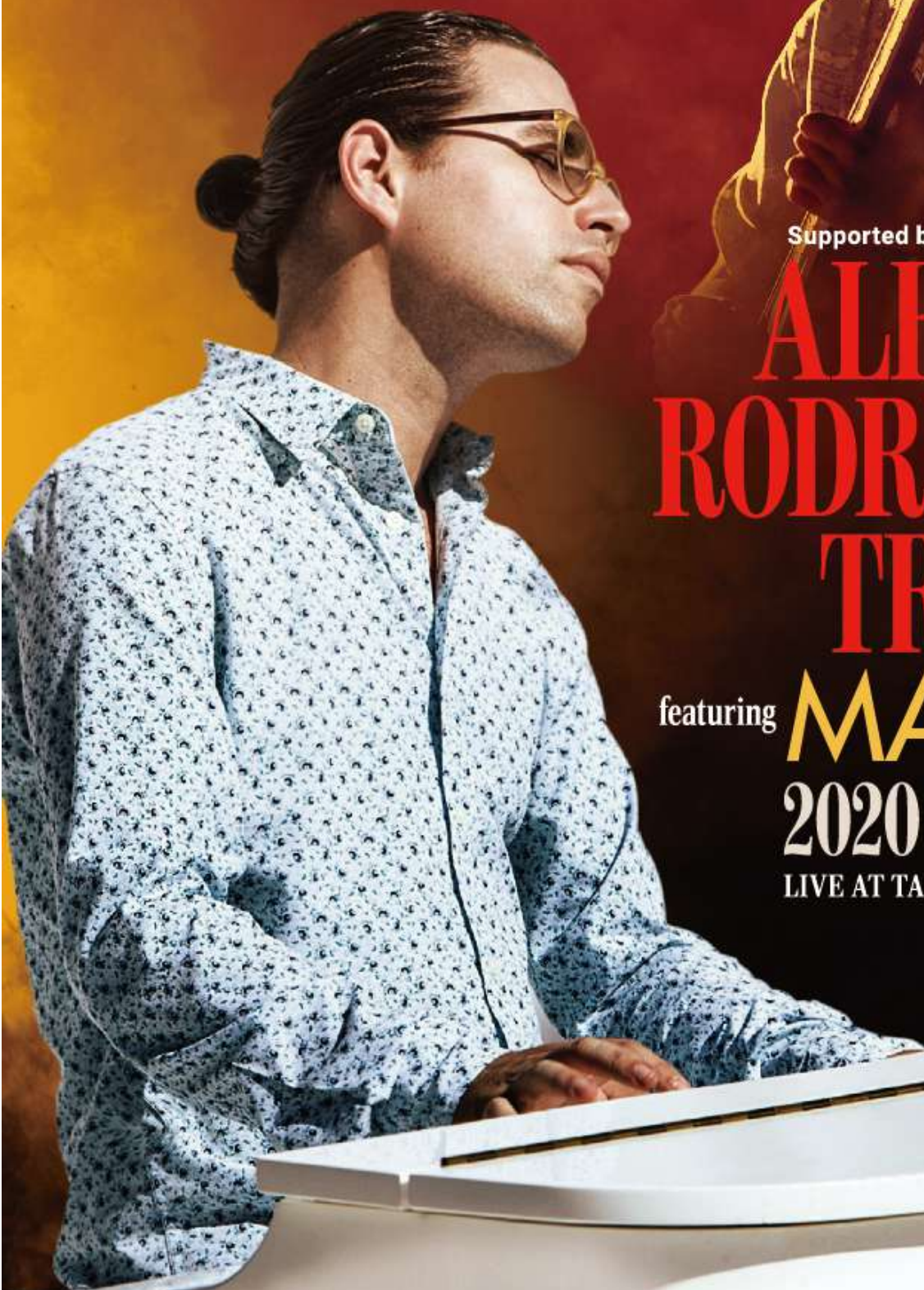
Supported by Blue Note Tokyo

ALFREDO RODRIGUEZ TRIO

featuring **MARO**

2020 6.7 sun.

LIVE AT TAKASAKI CITY THEATRE



Supported by Blue Note Tokyo

ALFREDO RODRIGUEZ TRIO featuring MARO

presented by



アルフレッド・ロドリゲス・トリオ featuring マロ
presented by クインシー・ジョーンズ・プロダクションズ

Alfredo Rodriguez (p,vo) / Munir Hossn (b,g)
Michael Olivera (ds) / MARO (vo,g)

2020 6.7 sun.

高崎芸術劇場 スタジオシアター

Open 5:15pm Start 6:00pm

- ◎全席指定 6,000円(税込/1ドリンク付)
- ◎U-25 3,000円(税込/1ドリンク付)
- ◎Special Plan 9,500円(税込/1ドリンク・ディナー付)

※Special PlanについてはHPをご覧ください。

※U-25料金は公演当日25歳以下の方が対象です。

クインシーが称賛する天才ピアニストとシンガーソングライター 音楽の未来を拓くふたりのコラボレーション



Alfredo Rodriguez (p,vo)



MARO (vo,g)



Munir Hossn (b,g)



Michael Olivera (ds)

マイケル・ジャクソンやフランク・シナトラを手がけた名プロデューサー、クインシー・ジョーンズが称賛するふたりの天才が遂に出会う。キューバ出身のピアニスト、アルフレッド・ロドリゲスとポルトガル出身のシンガーソングライター、マロの共演だ。アルフレッドはスイスのモントルー・ジャズ祭におけるステージがクインシーの目に留まり、2012年にワールド・デビュー。親しみやすい選曲、雄大かつ独創的なピアノ演奏で一躍人気アーティストの仲間入りを果たした。マロはエリス・レジーナやエスペランサから大きな影響を受けて音楽性を育み、2019年にはジェイコブ・コリアーのツアーに帯同。音楽の未来を拓くふたりのコラボレーションに胸が高まる。



アルフレッド・ロドリゲス
『ザ・リトル・ドリーム』
(キングインターナショナル)



MARO
『It's OK』
(Secca Records)



アルフレッド・ロドリゲス (p,vo)

キューバ・ハバナ生まれ。クラシック・ピアノを学んだ後、ジャズの道へ。クインシー・ジョーンズに見出され2009年に渡米。2010年には自作曲が上海万博の公式テーマ曲として選出された。2011年に初来日して以来、毎年のように公演を行い、多くのファンを楽しませている。



マロ (vo,g)

ポルトガル・リスボン生まれのマルチ・ミュージシャン。母国の音楽院でピアノを学び、渡米後パークリー音大に入学。2018年に1stアルバム『MARO, Vol. 1』を配信でリリース。翌年ジェイコブ・コリアーのツアーに参加。ジャンルを超越した音楽性でシーンの注目を浴びている。

TOUR INFORMATION | 2020 6.8 mon., 6.9 tue., 6.10 wed. ブルーノート東京 www.bluenote.co.jp

チケット
発売

web先行: 4月10日(金) 10:00～ 高崎芸術劇場メンバーズ
電話発売: 4月13日(月) 10:00～ 高崎芸術劇場チケットセンター Tel: 027-321-3900
一般発売: 4月14日(火) 10:00～ 高崎芸術劇場2Fチケットカウンター
チケットぴあ <http://pia.jp> (Pコード:182-948)



公演の詳細は
こちらから

高崎芸術劇場
TAKASAKI CITY THEATRE

〒370-0841 群馬県高崎市栄町9-1 Tel: 027-321-3900 (mon.-sun. 10:00a.m. - 6:00p.m.)

<http://takasaki-foundation.or.jp/theatre/> ※WEB予約は24時間受付しています。ぜひご利用ください。